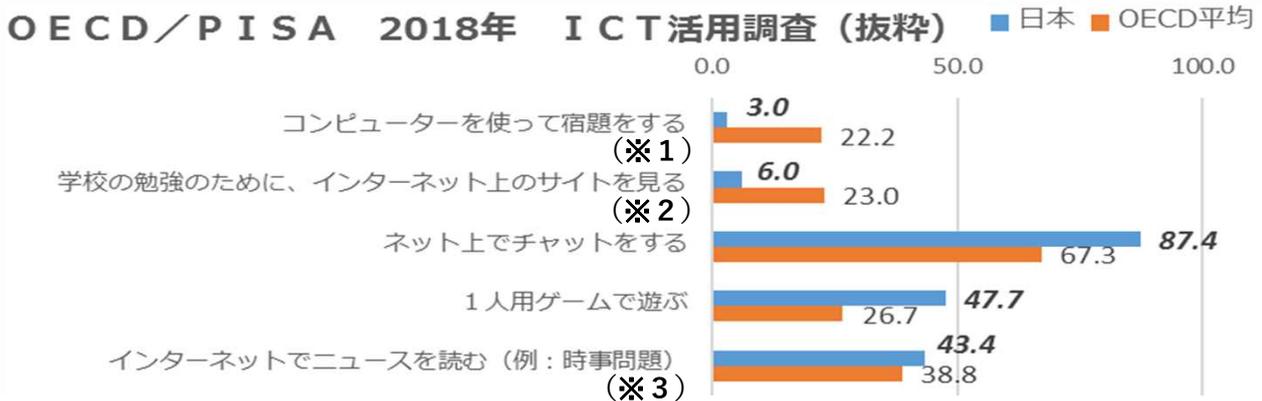


FRONTIER

予測できない未来を切り拓くためには、「既存の方法にとらわれず」、自ら適した方法とその都度選択して学び続けることが必要です。ちばっ子の学びに「ICT」という新しい選択肢を増やしましょう。



家庭学習で効果的にICTを活用しませんか？



※単位はすべて% ※文部科学白書2019より部分抜粋

PISAの調査からは、日本では宿題など家庭学習ではICTを活用することが少ないことが分かりますね。(※1)

家庭でのインターネットの利用は、ゲームやチャットなどが多いですね！(※2)

時事問題などに対応するためにニュースを見る時はインターネットを活用している(※3)から、家庭での学習に全く活用されていないわけではないようです。何かきっかけがあれば・・・

合言葉は「**I** (今までの学びに) **C** (ちょっとずつ) **T** (取り入れる)」

家庭学習にICTをちょっとずつ取り入れることで学力向上！！

Step 1

家庭での調べ学習に取り入れる！

対象：小学校中学年～

インターネットを用いた情報収集などを家庭学習の課題にする

学校の授業でも実施していることが多いので、家でも取り組みやすいことが特徴です。日頃の授業でも指導されていることかと思いますが、情報収集の際に気をつけることなどを明確に指導しておくことが、効果をあげるために重要なポイントです！



インターネットを利用して調べ学習をするときの注意点 (例)

- ① ホームページが誰によって作られたかを確認して信憑性が高いかを確認する。
- ② 更新されている日付を確認して新しいデータであるかを確認する。
- ③ 複数のページ、あるいは書籍等を確認してデータが正しいかを検証する。
- ④ ウイルス感染の恐れがあるので、むやみファイルなどをダウンロードしない。 など

Step 1

ふりかえりとして動画を視聴する

対象：小学校低学年～

NHK for School

<https://www.nhk.or.jp/school/program/>

教材動画などを視聴することで予習や復習に！

『NHK for School』10～15分程度の動画であり、計画的に活用することで学習効果が期待できます。家庭での復習にも活用していきましょう。

文部科学省「学習支援コンテンツポータルサイト～子供の学び応援サイト～」など、その他にも活用できるコンテンツは豊富にありますので、単元の計画等を確認し、家庭学習に最適なものを探しておくといでしょう。



文部科学省「学習支援コンテンツポータルサイト～子供の学び応援サイト～」

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm

Step 2

課題は写真データやパソコンでの作成物を提出

対象：小学校中（低）学年～

重い荷物を持つのは心配・・・

提出される課題は紙媒体や作成物からデータへ

例えば夏休みの自由工作。大きな荷物となってしまいますが、完成した作品の写真データを提出（展覧会などに出展する場合のみ、後日に持参など）という形にすれば・・・

- ①登校時の荷物が減り健康面・安全面に配慮できる
- ②教室のスペース確保につながる
- ③作品が不慮の事故で壊れない
- ④データを残せて整理が簡単なので評価がしやすい

など、課題の作成方法を工夫することでメリットがたくさん生まれます。



持ち帰りもスムーズ！

『プレゼンソフトで自分の作品を紹介してみよう』にチャレンジ！

作品名や工夫したところ、努力したところなどをアピールするスライドを作成する。

児童生徒の実態に応じて、小学校低（中）学年にはテンプレートをあらかじめ作成し入力させたり、小学校高（中）学年～中学生には「2スライド分」などには大まかな条件だけを提示して作成したりという方式。

ICTを活用した表現力の向上や情報活用能力の活用が見込まれます。

Step 3

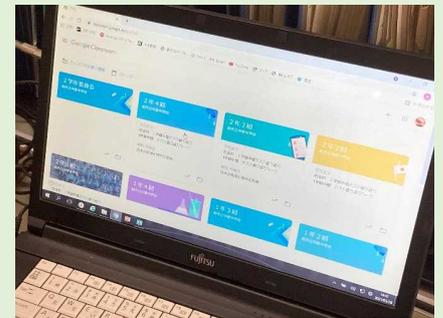
グループウェアを活用して課題作成・回収

対象：小学校高学年～

課題の作成、提出はパソコン上で！

Microsoft TeamsやGoogle Classroomなどのグループウェアソフトを用いて課題提出を行えば、課題の印刷や紙媒体での回収などが不要になります。使い慣れてくると評価などにも有効活用できるようになりますが、まずは課題の作成や回収などから始めてみましょう！

- ①紙媒体の印刷や回収が不要になる。
- ②締切日や提出状況のチェックなども簡単にできる。



全クラスの締切日なども表示されるのでチェックがしやすいです！

まずはできるところから少しずつ取り組んでみましょう！